

令和2年度NPO活動推進補助金 活動報告書

事業名	コロナの影響による生活困窮者への食品提供事業
団体名	特定非営利活動法人フードバンク福岡
法人設立年月	平成29年7月
団体の目的	まだ食べられる食品が多く捨てられている現状において、企業や農家あるいは個人から食品を提供してもらい、必要としている福祉施設や個人に届けることで、食品ロスの削減と生活困窮者の支援を行うとともに、食べ物を大切にする意識の醸成を図り、食を通じて人と人が繋がり、お互いを助け合い、分かち合う心を育み、誰もが尊厳をもって人らしく暮らし、働くことが出来る社会をつくることを目的としています。
主な活動	<p>フードバンク事業</p> <p>食品関連事業者及び個人から余剰食糧を回収し、提供された食品を社会福祉施設及び生活困窮者の自立支援活動をする非営利団体および生活困窮者個人に提供する事業</p> <p>地域の繋がりを支援する事業</p> <p>食べ物を通じて、人と人、人と地域が繋がり、お互いが助け合い分かち合う社会を作ることを支援する事業</p> <p>普及啓発事業</p> <p>フードバンク事業を社会に広く認知してもらうための普及啓発事業</p>

補助事業の概要

(事業を実施した背景、事業内容、成果、次年度以降の展望)

コロナの影響に伴う、ひとり親家庭、リストラに伴う生活困窮者、大学生、留学生等への食糧支援をおこなうための配送の整備と食料提供のための受け皿づくりをおこないました。実施内容としては、レンタル倉庫を鶴田近辺で確保、配送インフラ整備の一つとして、職員1名を食品の集荷・配送業務を主な業務として週15時間程度を確保、ボランティアの方の配送業務とあわせ1週間で約30時間程度を配送・集荷業務として運用を実施

確保した食品の提供を個別配送として月2回平均40名、ひとり親家庭30世帯、生活困窮者対応として各行政の福祉課・社会福祉協議会へ生活セットを月45セット程度、留学生(月約400名)へ配布、また5つの大学へも、アルバイトの減少、両親の収入減にとまなう学生を対象に食品の提供を実施

今回食品提供に必要な食品の確保と提供のための配送インフラの整備をすることで、食品確保と受け渡しの受け皿づくりが一定すすみ、食品提供量だけでなく、食品の種類もひろがり、食生活の改善のひとつになっていると考えます。

特に、お子様のいる家庭への食品提供で、「お菓子がはいておりこどもが大変よろこんでいます」、「初めてスイカを食べました」等の声もいただいています。シングルマザーをはじめとしてコロナで生活が大変になり食べるものに困っていますという声の方にも一定対応できたのではと考えます。

2020年度1年間の食品寄贈企業数48社前年比177.8%、食品の配布団体45団体前年比140.6%、個人への郵送月2回(配送件数延べ約400件)

次年度の取り組みとして、個別配送については、コロナも落ち着いた状況で問い合わせも多くいただいているので、独自で個別の配送は継続いたします。あわせて、行政の福祉課の窓口、各社会福祉協議会へ生活セットを拡大、常備していき、個人の方の対応の幅を広げる予定です。





補足(1)上記項目を満たしていれば、本様式以外を使用しても構いません。別紙記載例を参照してください。パワーポイント等で作成される場合は、10ページ以内とします。

(2)活動写真を2、3枚程度添付してください。

(3)この報告書は、市ホームページに掲載するとともに、寄付者に送付している活動報告書を作成する際に活用させていただきます。